

発行所  
青森県高等学校・障害児  
学校教職員組合  
青森市橋本1丁目2-25  
教育会館017(734)7287  
編集発行人 田村儀則  
購読料一部20円は組合費  
の中に含む

**●あなたも高教組へ!**  
働く私たちの生活を守り、  
子どもに豊かな教育環境を求  
める運動を続ける高教組の  
輪に、ぜひ加わってください。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>

# 35人に総額70万円支給!

## 37年目の主任手当拠出基金奨学金

10月25日、2015年度の主任手当奨学金運営委員会が開かれ、35名に70万円の奨学金を給付することを決定しました。これで37年目となるこの運動は36年間の累計では、3,339名の生徒に82,630,000円の支給となりました。

さる11月4日、厚生労働省が発表した2014年「就業形態の多様化に関する総合実態調査」によると、労働者全体に占めるパートや派遣など非正規雇用の割合は、各種調査のなか初めて4割に達しました。中でも賃金の問題は深刻です。非正規労働者の内、月収20万円未満は78%で、男性

で6割近く女性では9割近くになります。このような深刻な事態の中で、保護者が非正規で安定した職に就くことができず、教育費を捻出することが難しい家庭が年々増えているように感じます。貧困の世代間連鎖が生まれていく状況を作り出しているのではないかとさえ思われます。

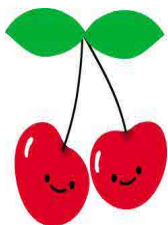
「お金の心配なく学びたい」という子どもたちの願いを受け止め、高教組は給付奨学金制度の充実を求めて署名活動等にも取り組んでいます。主任手当の拠出にご協力いただいているみなさんには厚くお礼申し上げます。奨学金基金がかなり心細い状況ですので、ぜひ協力いただける方がい



### 主任手当拠出運動とは

1977年、文部省により特定の主任に手当をつける制度が法制化されました。しかし、高教組は、「教職員は教育者として皆平等の立場であり、仲間である」とし、主任にだけ手当を支給することに反対しました。そこで、手当の一定額を拠出していただき、

主に経済的に困っている生徒への奨学金として一人2万円(開始時は3万円)の給付を行う運動を始めました。これが主任手当拠出運動です。



らっしゃいましたら職場の組合員にお話しください。よろしく願いいたします。



### 奨学金受給者からの喜びの声

・私の家庭では安定した職に就くことが難しく、学費を払うことができず、困っていましたので、このような奨学金のおかげで助かりました。本当にありがとうございました。

・本来ならば先生方の手当であるはずの積み立て基金の中から奨学金という形で支給させていただきありがとうございます。今回、このお金をいただいたことで、子どもも喜んでおり、今まで以上に大学受験に向けてがんばっております。先生方に助けていただいたことに感謝して親である私も子どものためにがんばらなければと思っております。このお金は受験費用にしたいと思えます。

### 風しの坂道の

▼お盆を過ぎた辺りから、テレビのCMがシチューや除雪機やらと冬仕様になり、「えーっ、もう冬?」と思っていたのに、里まで紅葉が終わりそうな今日この頃ですね。うちの学校も、技能職員の雪囲い、事務室での燃料の単価契約と、着々と冬支度が進んでいます。▼燃料と言えは、今年の同時期に比べて、今年は燃料が安いですね。何故そうなのかは、素人には難しく分りませんが、学校も家庭も大助かりです。しかし一方で、物の値段が安いと、それに関わる人たちの賃金が、適正に支払われている心配です。▼消費税が、10%に引き上げられる時に導入されるらしい、「軽減税率」という言葉を最近よく聞きます。そんなこととして福祉財源は大丈夫?本当に低所得者のためになるのか?疑問だらけですね。政府は、今度こそきちんと説明して、納得できる内容にしてもらいたいです。▼私は、3週間も咳に苦しめられました。皆さんは体調いかがですか?安い燃料で暖まって、元気に過ごしましょう。(F)

10月31日(土)・11月1日(日)の2日間、八戸シーガルビューホテルで第65次教育研究青森県集会「あおもり教育のつどい2015」が開催されました。小学校・中学校・高校、私学、そして大学の教員、大学生、地域住民など約1000名が参加する、開かれた集会となりました。1日目は、開会集会和記念講演、課題別分科会、大交流会、2日目は教科等の分科会が開催され、熱心な学習と交流が行われました。

終始にこやかに講演をする佐久間亜紀先生

No image



## あおもり教育のつどい2015 in 八戸

**本**当に希望の持てる話で、また月曜日からいろいろなことに対し、ずっでも取り組んでいきたいと思える内容でした。

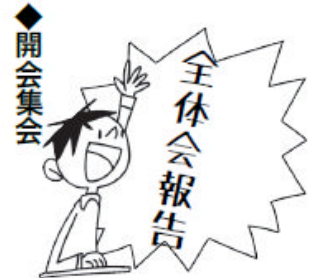
### 参加者の感想から

**テ**ーマどおり希望のもてる内容を聞くことができ本当によかったです。たくさん勉強になった中で1つあげるとしたら、生徒が主体者となった時にやる気を見いだす!ということです。それを意識した授業をつくっていきたいです。

**全**体講演は「つながる力」…教育のキーワードとなるものだと感じた。子ども同士、教師と子ども、教職員同士、教師と地域…さまざまなつながりの中で子どもも親も教師も育っていくことが大事である。

**佐**久間先生の講演では、子どもたちがいかに「生活の中で発揮される学力」を身に付けることができるのか、また「つながる力」を身に付けることの必要性について学ぶことができました。学習の方法や活用、学級経営をまた見直し、明日から取り組んでいきたいです。また、子ども同士のつながり、教師同士のつながり、地域とのつながりのように自分自身が多くなるとつながっていくことができるよう、雑談を大切にしていきたいです。

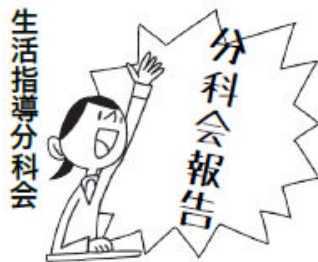
**◆開会集会**  
田村高教組委員長が実行委員長として「憲法と子どもの権利条約が生きる学校のあり方を問う集会をめざしましょう。教職員だけでなく、一般・大学生も含めた教育の議論が交わされる集会にしましょう。終了後に元気で教育活動が続けられるような集会にしましょう。」と参加者を激励しました。



**◆佐久間亜紀講演**  
慶應義塾大学の佐久間亜紀教授が「学校って、もっとおもしろい!」現場の先生方から学んだこと」と題して講演をしました。最初に、SEALS関西の大澤 実美さんのスピーチから、今の若者が感じている教育観、学力観、人生観を掘り下げました。実美さんは、この夏に自由と民主主義を守るための行動に立ち上がりました。小さい時から息苦しかった自分の人生を振り返りながら、社会活動の大切さに気付いたので、彼女はどのように変わられたのでしょうか。

**教師自身がビジョンを!**  
佐久間氏はこの発言から、子どもたちに育てるべき能力は、「世界とかわる力」、「他者とかわる力」、「自分を見つめる力」が必要だと訴えました。

この実践の中では、教師も子どもたちも生き生きと学び、そして自分たちの学びを実感し羽ばたいていきました。佐久間氏は大人が子どもたちに教えることは、答えではなく、探求の方法を学び、生活の中に活かしていけることが大切だと語りました。教師自身もどんな教室を、地域を、社会をつくりたいのかを考え、ビジョンを持つことが必要だと訴えました。



生活指導分科会

生活指導分科会は公立高校教員4名、私学教員4名、大学生1名と研究協力者の10名で話し合いを持ちました。青森東の吉田さんからは「学年主任として特別なニーズを必要とする生徒をどう支援するか」のレポートが出され、そのことについて各学校における震災後の取り組みやクラスの生徒たちへの学習支援の在り方について話し合いが行われました。

事務・現業分科会

レポート「子どもの学習権と修学保障を考える(全国学校事務職員制度研究会ヒロシマ大会報告)」と2014年11月に全教が行った「高等学校等就学支援金に係わる全都道府県・政令市教育委員会調査結果」の報告の二つを柱に10人を超え

No image

若い方がたくさん参加されていて、ほっとしました。先生方はもっと生徒の方を向いて教育していくことが大事なのだと思います。

**震** 災後の八戸の状況を聞くことができたことがとても貴重だった。八戸水産高校が、いかに地域に支えられ、地域発展に貢献することができる存在かを感じた。自分の学校でも地域に期待され、これからの日本、地域に貢献できるような人材育成に努めていきたいと感じた。

**日** 記・作文と教育分科会では日記の中に子どもたちの思いがたくさん含まれていることが伝わってきました。子どもたちの思いを大切に、現場でがんばってまいります。

**社** 会科分科会の地理のフィールドワークは大変興味深く聞くことができました。教員側の指導(準備)力によって、こんなにも素晴らしい授業がしてくれることにあらためて感動しました。私自身の参考にさせていただきます。

**英** 語の分科会では、ICTの使い方、さまざまなプログラムについて話が聞けて、とても有益でした。また、授業で使う上での注意点、効果の有無についてもさまざまな意見が聞けたことが勉強になりました。

る参加者が意見交流を行いました。高校でも就学支援金の手続きを実施する際、保護者にわかりやすいように、と苦労しているが、中学校のほうでも「高校等での学びを経済的に支える制度について」等の資料で保護者に説明しているなど、これからもより一層の小・中・高などの学習交流の必要性を痛感しました。また、就学援助の状況を聞きながら、「奨学のための給付金制度」についても給付額の増額が必要と実感しました。

平和分科会

参加は報告者も含め9人。こじんまりした落ち着いた和室にちょうどよい人数でした。まず、今

国語分科会

年の世界大会/広島大会に中学生の息子さんと親子で参加した小泉真先生が報告。続いて、県原水協事務局が被爆70年の世界大会/広島/長崎大会全体の報告を映像をもとに報告。その後、質問や感想を出し合っ

社会科分科会

レポート発表者は2名でした。小森愛美先生(向陵高)「我が校の古典授業実践」からは、学力差が著しいクラスの授業を担当する教員の、様々な工夫と苦勞が報告されました。複数の校務を兼任する中、授業のプリント作りやその点検等もせねばならず、相当な時間外勤務の状況が浮き彫り

レポート発表者は2名でした。小森愛美先生(向陵高)「我が校の古典授業実践」からは、学力差が著しいクラスの授業を担当する教員の、様々な工夫と苦勞が報告されました。複数の校務を兼任する中、授業のプリント作りやその点検等もせねばならず、相当な時間外勤務の状況が浮き彫り

社会科分科会では、「地域を教材化する」ことに取り組んでいます。今回も地域をテーマにした実践レポートが3本出されました。義務制のレポート「本校におけるキャリア教育の実践―地域と子どもの体験活動―

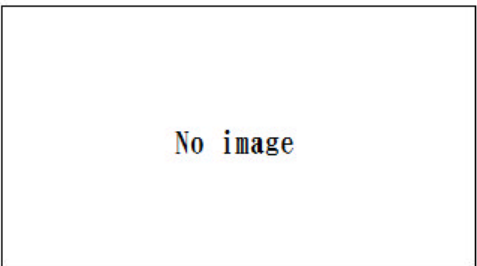
は、農業や福祉などの体験を通して地域について学んでいく取り組みでした。私学のレポート「18歳選挙権に生徒の思いは―八戸市議会傍聴の授業を通じて―」現代社会の授業の中で、八戸市議会を傍聴しながら地域や政治について学ぶ実践でした。18歳選挙権との関わりで議論が盛り上がりました。県立高校からは「地図を持って街に出よう!―地理のフィールドワークの取り組み―という地理巡検の実践が報告されました。

技術・家庭科、職業教育分科会

この分科会では、最初に全員の自己紹介と、この分科会に参加した問題意識を語ってもらいました。その後、全国集会の参加者から、開会集会や教育フォーラムの様子、本分科会の全国レポートの報告がありました。レポートは、「工業高校のパソコン実習について」、「ルボ・震災その後―八戸の水産業と教育―」の2本でした。参加者は、工業、商業、家庭、水産と様々で、レポートを深める議論と資格取得、検定試験の現状などの情報交換がされました。

10月17日、18日、宮城県松島町にて北海道・青森・秋田・宮城から14名の参加で開催されました。

17日は初の試みとして、被災地をめぐるフィールドワークを行い、当時の状況を前宮城高教組委員長が、実際に避難した場所などを移動しながら説明してくださいました。自身で撮影した写真集も交えながら、4年経った今も地域によっては復興が進んでいない現状



**現業職員の身分確立を求めよう!**  
**第47回北海道・東北ブロック**  
**高等学校現業職員集会**

2016年1月9日、11日、標記の学習交流集会が開催されます。今回の会場は、神奈川県横浜市。交流会は中華街で行います。全国から、障害児教育の最新の実践報告を聞くことができます。インクルーシブ教育の推進が求められている今こそ、この集会に参加して、最新の情報を学んでみませんか? 障害児学校だけではなく、高等学校の先生方の参加も大歓迎。もちろん未組合員でもかまいま

No image

を参加者に訴えました。18日は各道県の情報交流を行い、被災地から現業職員が学校で果たす役割について再認識するとともに、身分確立を求めるとりくみを前進させることを確認し集会を終えました。

せん(組合員には交通費等の補助があります)。各分会にチラシを配布しています。詳細については、各分会員または青森高教組本部までお問い合わせください。

**全教障教部全国学習交流集会に参加しませんか?**

**青森高教組第127回中央委員会**  
 期日:2015年12月13日(日)  
 10:30~16:30  
 会場:青森県教育会館2階会議室

各支部からの出席をお願いします。分会状況を交流し、今年度下半期の運動方針を決めます。



**2016年ちひろカレンダー販売中!**  
 売上の一部が、原水爆禁止日本協議会の活動に役立てられます。あなたのお部屋に、「平和の祈り」が込められたカレンダーはいかがですか?  
 サイズ:A2判(59.4cm×42cm)  
 価格:1,500円  
 →ご注文は高教組まで

**クイズ「マイルからの便り」**

11月8日、2年生の学生全員が日本留学試験(EJU試験)を受験しました。これは、外国人留学生として日本の大学(学部)等に入学を希望する者について、日本語能力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施される試験です。日本の高校生が大学入試センター試験を受験するのと同様に、AAJの学生たちもEJU試験の突破を目標に掲げ、日々勉強してきました。

11月8日、2年生の学生全員が日本留学試験(EJU試験)を受験しました。これは、外国人留学生として日本の大学(学部)等に入学を希望する者について、日本語能力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施される試験です。日本の高校生が大学入試センター試験を受験するのと同様に、AAJの学生たちもEJU試験の突破を目標に掲げ、日々勉強してきました。

出題科目は日本語、理科2科目、数学です。出題形式はマークシート方式で、数学はセンター試験と似たような感じですが、出題範囲は数学Ⅲまでとなっています。

EJU試験は地域間の時差への対策から、同じ実施日であっても複数の問題冊子が利用されます。そのため、受験した試験によって不公平を生じないように、

受験者の得点は得点等化という複雑な数式で算出されるそうです。問題は持ち帰りできず、正答や配点が公表されないため、自己採点できません。1か月後の結果通知までドキドキの日です。

(北斗高校分会 片桐拓)

No image

留学試験会場入室前にお祈りする学生

**全教自動車保険**

**あなたをマモルン**

**見積りキャンペーン**

**実施中**

①見積りを依頼していただいた方に!  
 ②見積りのご紹介者にも!

さらに...  
 ご加入者には抽選で「ドライブレコーダー」プレゼントのチャンス!

「ハーゲンダッツギフト券」をプレゼント!

※詳しくは、ご案内チラシをご覧ください。取扱代理店までお問い合わせください。